

(様式3)

事業所名 グループホームよしだ

ユニット名 吉田横町1丁目・吉田横町2丁目

作成日: 令和 4年 9月 24日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	13	コロナ禍において、研修の中止や、集まる事への懸念から、研修に参加する機会が減っている。また、働きながらトレーニングを機会が、思うように作る事ができない。	「方針」にもあるように、職員の同一レベル化を図る。施設内外の研修ではなく、より集まりやすい施設内で研修を実施し、個々のスキルアップに繋げる。	研修参加がしやすいような環境づくり⇒管理者・リーダーによる声掛けや勤務調整。職員一人一人からのヒヤリングを通して、学びたい事、高めたい部分を確認し、施設内研修の実施や、各ユニット会議の時間を使い、勉強会の開催や意見交換、自らの日々の介護方法等の振り返りを行う機会を設ける。 6ヶ月
2	19	開所時より新型コロナウイルスの流行にて、面会制限が続き、家族と直接触れ合う事ができなくなっている。特に県外の家族・親戚等とは面会も困難になっている状況にて、関わる機会・時間が減っている。	収束が見えないコロナ禍において、可能な方法を探り、家族や今まで関わってきた方達との関係が続くようにする。	面会時には決められた方法を守ると共に、感染状況を確認しながら法人と相談し、面会方法の緩和を提案する。面会だけではなく、暑中見舞いや年賀状の作成といった書面を通しての関わる機会を作る。作成時には、より身近に感じて頂けるよう、文字だけでなく写真を入れる等の工夫を行う。 6ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月